

令和5年度岐阜県生活習慣病検診等管理指導審議会
大腸がん部会 概要

- 1 日時：令和6年2月7日（水） 13：30～15：00
- 2 場所：議会棟
- 3 出席者：

	氏名	所属	備考
委員	荒木 寛司	松波総合病院 副院長	
	三輪 佳行	県医師会 常務理事	
	足立 政治	西濃厚生病院 副院長・消化器内科部長	
	山田 祐也	総合保健センター 臨床検査技師	
	田口 茉優	市町村保健活動推進協議会保健師部会（下呂市）	
オブザーバー	伊藤 陽一郎	関保健所 所長	
事務局	井上 玲子	保健医療課長兼健康推進室長	
	田中 和美	主幹兼がん・受動喫煙対策係長	
	成瀬 萌果	主事	
	川瀬 仁美	技師	

4 内容：

報告：1 令和4年度岐阜県生活習慣病検診等管理指導審議会大腸がん部会議事

2 岐阜県のがんの現状

- ・岐阜県の大腸がん年齢調整死亡率は年々減少している。
- ・令和元年の大腸がん年齢調整罹患率は全国よりも低い、男女別で見ると、女性が全国よりも高い。
- ・国民生活基礎調査による受診率（推計値）は、増加傾向であり、目標値である50%には至らなかった。地域保健・健康増進事業報告による受診率（実測値）は、令和2年度から大きく減少。新型コロナ流行前までの値には回復していないため、引き続き、検診の啓発や受診しやすい環境づくりに取り組む必要がある。

3 がんの予防（大腸がん検診）の推進について

(1) 第4次岐阜県がん対策推進計画（素案）について

- ・がん対策基本法第12条に基づき、同法第3条によるがん対策の総合的な推進に関する施策についての基本方針（がん対策推進基本計画）を踏まえ、がん対策に関する取組みと目標を定めるもの。第3次岐阜県がん対策推進

計画（平成30年度～令和5年度）が今年度で終期を迎えることから、次期計画の策定の検討を実施。

- ・がん検診については、「1. 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実」の「(2) がんの2次予防（がん検診）」に記載。目標案は、「がん検診受診率」、「精密検査受診率」、「がん検診評価のためのチェックリストの遵守率」の向上としている。受診率及び精度管理の充実により、がん死亡率を減少させることを目指し、県、市町村、検診機関、保険者等の関係機関による連携した更なる取組みが必要である。

(2) 科学的根拠に基づくがん検診の実施について

- ・対象年齢が国の指針外である30歳から実施している市町村がある。不利益が利益を上回る可能性があることから、対策型検診としては推奨しない。
- ・精密検査の第一選択である内視鏡検査を行うべきところ、便潜血検査の再検査を実施している医療機関があることから、医療機関への周知と県民への周知をしていく必要がある。
- ・精密検査機関の一覧については、約半数の市町村が実施している。今後、県として各市町村の状況を詳しく把握していく。

(3) 適切な精度管理の実施について

- ・5大がんの令和4年度市町村の事業評価のためのチェックリスト実施率は全国平均を上回っているものの、前年度と比較し全体的に減少した。
- ・検診機関の要精検率は許容値を超えている機関が約半数あり、受診者への不利益が懸念される。要精検率が高いことは、目視判定や、低いカットオフ値を使用することによる影響が考えられる。
- ・市町村、検診機関のチェックリスト及びプロセス指標の改善に向けて、市町村から積極的に検診機関へ働きかけを行うことが必要である。
- ・保健所が実施するヒアリング等によって得た県内市町村の好事例について水平展開をしていく。

⇒上記協議結果について、市町村及び検診機関に周知を行い、精度向上に向けた取組みを促していく。